

## 教父研究会活動報告

(110一二年二二月～110一三年一二月)

第一四四回教父研究会

二〇一三年六月八日（土） 上智大学

第一四二回教父研究会

一一〇一二年一二月二二日（土） 聖心女子大学  
〈ディオニュシオス・シンポジウム〉

谷隆一郎氏「神への関与・分有における『意思的聽從

ないし信のアナロギア』—擬ディオニュシオスと証

聖者マクシモス—」

山本芳久氏「トマス・アクィナスのキリスト論・『最高善の自己伝達』としての『受肉』」

特定質問

田子多津子氏

第一四三回教父研究会

一一〇一三年三月一六日（土） 上智大学

松村康平氏「audiamus—『告白』第9卷10章25節に

おける—」

岡崎隆哲氏「知解を求める讃美—アウグスティヌス『告

白』冒頭箇所（第1巻1章1節）再論—」

第一四六回教父研究会

二〇一三年二月一四日（土） 上智大学

〈シンポジウム・『闇』—超越と認識〉（上智大学共生  
学研究会との合同開催）

大森正樹氏「闇—神現の場」

袴田涉氏「暗黒の中へ—偽ディオニュシオスの闇の思

第一四五回教父研究会

二〇一三年九月二八日（土） 上智大学

辻絵理子氏「ビザンティンの『余白詩篇』と教父思想  
の受容」

鎌木道剛氏「古代の神像の脱魔術化・エウセビオスの  
場合」

想」

清水美佐氏「『闇』と『光』における神との出会いー

コーラ修道院葬礼用礼拝堂における《ヤコブの梯子》

と《モーゼと燃える柴》考察」

平松虹太郎氏「中世ユダヤ思想における敬虔主義の思

潮—アシュケナーズ系ハシディームの神理解を巡つ

て」

教父研究会役員（11013年6月から）

名誉会長 加藤信朗

会長 出村和彦

理事 上村直樹・柴田有・高橋英海（事務局長・

編集担当理事）・出村和彦・水落健治・宮

本久雄・村上寛・山本芳久（事務局・編集

担当理事）

会計監査 高橋雅人

幹事 編集担当 桐田涉

会計担当 桐田玲

庶務担当 坂田奈々絵

事務局所在地

〒153-1890

東京都目黒区駒場三一八一

東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻

高橋英海研究室

### 『パトリスティカ』 投稿規定

1. 本誌への投稿は、教父研究会での口頭発表を前提とする。発表を希望する会員は、原則として、発表前年の一一月末日までに事務局宛にメールにて申し込むこと。事務局のメールアドレスは、以下のとおり。

takahashi@ask.c.u-tokyo.ac.jp

2. 投稿原稿の締め切りは、発行年の三月末日とする（依頼原稿は必ずしもこの限りではない）。

3. 本誌は投稿原稿に限り、査読制を採用している。原

稿の採否、及びその取り扱いは、提出原稿を審査のうえ、運営委員会が決定し、投稿申込者に通知する。

4. 原稿の字数は、一六、〇〇〇字以内

縦書き（欧文タイトルを付す）